



関宮学園

学校だより 22号

R7. 9. 26

校訓「敬・愛・信」

魂が動いた運動会

9月20日(土)の運動会には、多くの皆様にご来場、ご声援いただきました。ありがとうございました。今年の運動会のスローガン『魂動(こどう)～走れ関学の頂点へと～』のとおり、子どもたちの躍動が、関宮学園のグラウンドを大きく震え動かしました。観ている我々の心も震え動かしました。すべての子どもたちが、関宮学園の頂きに到達したのではないのでしょうか。頂きから見る光景は違うと聞きます。子どもたちはどんな光景を見たのでしょうか。達成感でしょうか。充実感でしょうか。

6年生と9年生のリーダーシップを発揮する姿。下級生が上級生を見習う姿。上級生が下級生をサポートする姿。子どもたちと教職員とが一体になる姿。子どもたちに大声援を送る保護者や地域の皆様の姿。どれも関宮学園らしさが発揮されたものでした。名場面もたくさん生まれました。関宮こども園の皆さんのフラフープもとても素敵でした。ともに運動会を創り上げていただき、ありがとうございました。これまでも運動会は好きな行事でしたが、子どもたちの躍動を見て、ますます好きになりました。

いつもの授業では、経験できない学びや気づきを得て、子どもたちは成長しました。24日(水)には、いつも以上に大きな声であいさつをする様子。教室で朝学活を進める様子。そんな子どもたちの姿を見ました。運動会をとおして少し成長したように感じたのは、私だけではないはずです。

運動会が終わった後、1年生の児童が担任の先生にそっと手紙を渡してくれたと聞きました。手紙には、ピカチュウの絵とハートマークが描かれるとともに、次のように書かれていました。



うんどうかい たのしかったよ こんな いちにち なかったよ
こばやしせんせい ありがとう

担任の先生は感激していました。初めての運動会を楽しんでくれたなら、こんなにうれしいことはありません。

職員のリレーチームは今年も健闘むなしく、子どもたちに惨敗しました。転倒した私にも、温かい気遣いの言葉をかけてくれる子どもたちのやさしさに触れました。

運動会が終わって、子どもたちの大きな歓声が聞こえなくなり、グラウンドのラインが消え、幾分か寂しさを感じながら、あたりを見渡すと、彼岸花が咲いていました。季節は夏から秋へと進んでいます。子どもたちに元気をもらって、学校も魂動していきます。

イヌワシ駅伝大会

運動会に続き、9月23日(火)には、イヌワシ駅伝大会が行われ、本校からは、1～3年生の部9チーム、4～6年生の部6チームの計15チームが参加しました。たくさん子どもたちが参加し、大会を盛り上げるとともに、自分のベストを尽くしました。表彰を受けたチーム及び個人は以下のとおりです。

小学男子3年生以下の部

準優勝 西谷謙伸、太田芽希、寺崎圭悟 区間賞 3区 寺崎圭悟

小学女子4年生以上の部

区間賞 2区 滝下心菜

薬物乱用防止教室

9月25日(木) 8年生を対象に、養父市保護区保護司会のお世話で、薬剤師の方に講義をしていただきました。違法薬物を使うことだけでなく、医薬品を本来の医療目的や使用方法から外れて使うことも薬物乱用であること、インターネットやSNSの間違った情報に注意すること、違法薬物を勧められたらきっぱりと断ること、その場から逃げる(逃げる勇気を持つ)ことなどを学びました。

後期課程の校舎と体育館との渡り廊下に、「セキガクpixiv(ピクシブ)」という掲示板があります。これは、本校の美術担当教員が、生徒の作品投稿や閲覧が気軽に楽しめるよう設置した「イラストコミュニケーション掲示板」です。来校された際には、子どもたちの力作をご覧ください。

趣味や特技を楽しんだり発表したりすることから喜びが生まれます。作品をとおして友達同士で交流できたり、ほっと落ち着けたりできる場所であってほしいと願っています。

